

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 728 号
2022年 2月 1日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

特 別
寄 稿

年 頭 所 感 組 合 解 散 へ 良 い 着 地 点 を 模 索

中部ダイカスト工業協同組合理事長 中 根 由 雄

新年明けましておめでとうございます。
2022年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

中部ダイカスト工業協同組合会員の皆様におかれましては、平素より当組合事業にご理解、ご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大からほぼ2年、出口の見えない閉塞感から、ワクチン接種も進みようやく光が見え始めた中で、新たに発生した新型コロナ変異ウイルス「オミクロン株」に右往左往する兆しのスタートとなり、本年も先行き不透明感は拭えません。

2021年は、ウイズコロナの下、デジタル化、脱炭素化、SDGsなどに表れるように、会議・セミナーはWEBに、帳票類は電子化、電力削減など、経費削減につながる面もありました。

反面、コロナ禍による供給制約、原材料の高騰を背景に、建値相場への対応、燃料、消耗品、物流費の値上がり、部品の供給不足など混乱つづきの1年でした。各ユーザー様におかれましても生産品目によっては同様の混

乱が生じ、減産を余儀なくされ影響を受けられたことでしょう。

2022年は各経済誌が一様に、緊急事態宣言が解除で自粛ムードが緩和され、経済活動は緩やかではあるが、回復基調が続くと予測しています。依然厳しい状況下ではありますが、成長軌道への回復に向けて邁進する所存であります。

尚、中部ダイカスト工業協同組合も、円満解散に向けて着々と準備を進めており、解散後は日本ダイカスト協会への移行をお願いしております。

本年は、解散・清算終了のスケジュール案に基づき、必要経費を予測して、出資会社の正会員30社と

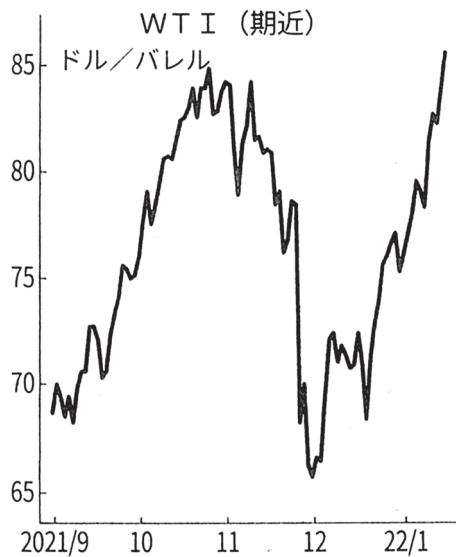
賛助会員49社のバランスの良い着地点を模索しながら無事に着陸いたしますので、会員の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸並びにダイカスト関連産業の益々の発展を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

(アツタ起業株式会社 代表取締役)



NY原油 7年ぶり高値



原油価格が上昇。ウエスト・テキサス・インターミディエート (WT I) 原油は直近でバレル86.96ドルと、約7年ぶりの高値を付けました。

産油国の地政学的リスクが高まったことで供給不安が広がったと言われます。インフレ懸念やエネルギー高への観測は、非鉄金属など商品の買い材料になる可能性もあります。コロナ禍からの経済正常化に向かう中で、原油の需要は回復する見込みですが、増えるとみられていた供給が伸び悩んでいます。

強気な見方を今の市場は織り込んでいます。欧米の金融機関からは、北海ブレンド原油をバレル100ドル以上の見通しが相次いで発表されました。引き続き投機的な買いを集める材料にはなりそうです。

原油の高止まりとインフレ懸念は、金属市場の強材料となり安く、早期の米利上げ観測といった弱材料があるのに金価格が底堅いのも不気味です。

天下の奇祭

てんてこ祭り

五穀豊穡を祈願する正月恒例の祭りで、今から約1,160年前(859年)の平安時代前期に清和天皇の大嘗会(だいじょうえ)の悠紀(ゆき)齊田にこの地域が選ばれ、その際に行われた「お田植え」の祭りがその起源と伝えられている。

てんてこ祭りの主役は、赤い衣装の厄男の3人で、男性のシンボルを象徴したダイコンを腰に付け、太鼓の拍子に合わせて腰を振ってダイコンを踊らせて練り歩く。

その後、厄男たちが竹ぼうきで、わら灰を撒き散らして祭りは最高潮の場面を迎える。この灰をかぶると厄除けや病除けになると伝えられており、見物客でにぎわう境内が一斉に沸き立つが、今年も中止となった。



第38回 商売繁盛・交通安全 祈願会

1月21日 三ヶ根観音

毎春、原料納入事業関連の皆様と行います「商売繁盛・交通安全祈願会」ですが、今年はコロナ禍での対応として当社で代参させて頂きました。

例年通り、三ヶ根山頂の三ヶ根観音に参詣し、今年の商売繁盛と交通安全を祈願致しました。厳かに護摩を焚き、音吐朗々と読経、お預かりした皆様の名前を高らかに名乗り、商売繁盛・家内安全・身体健全・開運招福・職員ならびに従業員一同無事息災と一心に祈願させて頂きました。

大寒の翌日、寒風の吹きすさぶ中、残雪を背に、七難即滅、七福即生と祈願いたしました。



11月生産

アルミ鋳物 増加 ダイカスト 減少

このほど経済産業省が発表した11月の生産動態調査によれば、アルミニウム鋳物の生産量は前年同月比2.1%増の35,442トン、アルミ・ダイカストは3.8%減の80,386トンでした。

鋳物は、一般機械やその他分野など自動車以外の分野が伸びて、3ヶ月ぶりに前年同月の実績を上回りましたが、ダイカストは期待された自動車の挽回生産が伸びずに3ヶ月連続のマイナスでした。

アルミ鋳物は、主力の自動車用が1%増で3ヶ月ぶりのプラスに、輸送その他は22.1%増で12ヶ月連続のプラス。一般機械は11.5%増で10ヶ月連続のプラス、その他は21.5%増で2年4ヶ月ぶりに1,000トン台を回復しました。

アルミダイカストは、主力の自動車用が4.9%減と伸びず3ヶ月連続のマイナスとなりました。二輪は2.7%増で3ヶ月ぶりのプラス、一般機械は9.4%増、電気機械は9.1%増とそれぞれ13ヶ月連続、10ヶ月連続のプラスでした。

11月アルミ鋳物・ダイカスト生産

(単位トン・前年比%)

①アルミ鋳物	35,442	(102.1)
② 一般機械	685	(111.5)
③ 輸送機械	33,705	(101.4)
④ その他	1,052	(121.5)
⑤アルミ・ダイカスト	80,386	(96.2)
⑥ 一般機械	2,759	(109.4)
⑦ 電気機械	1,618	(109.1)
⑧ 自動車	71,063	(95.1)
⑨ 二輪車	2,103	(102.7)
⑩ その他	2,843	(100.8)

アルミ合金協会 オンライン新年賀詞交歓会

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は1月18日オンラインで新年賀詞交歓会を開催し、約50人がリモート参加しました。

北山会長（エス・エス・アルミ）の冒頭あいさつに続き、来賓を代表して、経済産業省製造産業局の松野大輔金属課長が「アルミ関連製品が経済社会において非常に重要であり、脱炭素の時代にもポジティブに対処していくことが必要」とあいさつを行いました。

山本副会長（大紀アルミ）の乾杯の音頭の後、参加した正会員と賛助会員から1社ずつ画面に登場してあいさつを行い、香山副会長（日軽エムシーアルミ）の締めで終了しました。



社内情報

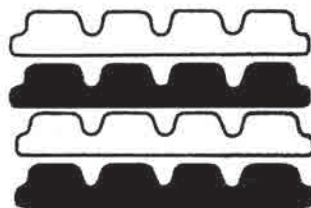
- ◎アスカ祈願会は、コロナ禍での対応として、本年も当社で代参させて頂きました。お札は順次お渡し致します。よろしくお願いたします。
- ◎アルミ合金協会の新年賀詞交歓会は上記の通り、本年はリモートで行われ、天野社長、岡田専務が参加。
- ◎カーメーカーの減産が続きます。当社も生産調整日を設けました。皆さまご協力ありがとうございます。

編集後記

- 中部ダイカスト工業協同組合理事長中根由雄様には年頭でご多用のところ特別寄稿の御執筆を頂きました。厚くお礼を申し上げます。
- 新型コロナウイルス変異種の爆発的感染拡大に対して換気を更に徹底したけれど・・・寒い、寒い。
- 原油価格の高止まりは、アフターコロナの経済再稼働の重石になりそうです。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 認証取得 (KHK-ISO CENTER)
アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500(代)
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>